

題予防的生徒指導を充実させ、いじめの積極的な認知へ向けた取り組みや校内教育支援センターの設置準備、スクールカウンセラーなど専門家による相談対応、ICT機器を活用した継続的な支援など、将来の社会的自立を見据えた取り組みの充実を図ってまいります。

特別支援教育の充実につきましては、障がいの有無にかかわらず、子どもたちが共に学ぶ共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念の下、北海道教育委員会の「特別支援教育に関する基本方針」に基づき、多様な学びの場の充実をはじめ、切れ目のない一貫した指導と支援、教員の専門性の向上を図ってまいります。その一環として、白老小学校に加え新たに萩野小学校を拠点とした通級指導教室を開設し、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への支援の充実を図ってまいります。

地域に信頼され、地域とともにある学校づくり

ふるさと教育の充実につきましては、義務教育9年間を貫く「白老未来学指導計画」に基づき、地域の方々との関わりを深める取り組みや白老の魅力発信、活性化の提言など、人との出会いや体験を通して学んだことを積極的に発信・共有する教育活動が展開されており、SDGsの視点も加えながら持続可能な社会の創り手として地域の自然や文化・歴史を大切に

し、ふるさとへの愛着を持ち続ける子どもの育成に向けた取り組みをより一層進めてまいります。加えて、これまでの実践により定着している「ふれあいふるさとDay」など、家庭・地域参画型のつながりを大切にした教育活動を展開しながら、地域とともに育つ学校づくりを進めてまいります。

安全・安心の保障につきましては、スクールバス等の運行をはじめ、関係機関と連携した交通安全教室や中学校を中心とした一日防災学校の実施など、児童生徒の安全確保および事故の未然防止を図るとともに、地域に根差す防災教育に引き続き取り組んでまいります。また、令和5年度から実施している学校給食費の一部無償化につきましては、近年の物価高騰も鑑み、引き続き12月から3月までの4カ月分として保護者の負担軽減を図ってまいります。

多様化するニーズに対応した教育環境の整備

学校の組織運営体制の充実につきましては、北海道教育委員会の第3期「学校における働き方改革北海道アクション・プラン」や本町のアクション・プランに基づき、「働きやすさ」と「働きたい」の両立と持続可能な学校づくりを目指し、ICT活用による校務の効率化の推進や保護者・地域との連携協働により、教職員が自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行う体制整備を進めます。

教育環境の充実につきましては、「白老町立小中学校適正規模適正配置基本計画」に基づき、望ましい教育環境の在り方について、引き続き子どもたちや保護者、地域の方の意見等もいただきながら、検討を進めてまいります。

暑さ対策につきましては、各学校に対して冷房機器の設置を行い、子どもたちの安全安心の確保と適切な学習環境づくりを進めてまいります。

■生涯学習の推進■

主体的な学びへのきっかけづくり

成人教育の推進につきましては、まちの将来を見据えた地域の担い手づくりを念頭に、本町の課題解決に向け町民の協働による取り組みが促進されるよう、公民館等の社会教育施設において、さまざまな地域人材を活用した公民館講座事業を実施してまいります。

芸術文化活動の推進につきましては、白老町文化団体連絡協議会をはじめ、町内芸術文化関係団体等との連携を大切にし、ながら、活動を支援してまいります。文化団体連絡協議会と体育協会の組織改編を見据え、町民の芸術文化活動を永続的に支援していくための体制づくりを進めてまいります。

読書活動の推進につきましては、「第五次白老町子供の読書活動推進計画」に基づき、家庭や地域、学校等との連携および相互協力による読書普及活動を図るため、「おもいで読書帳」のさらなる利用促進を図り、読書に親